



桑の緑

小坂小学校 学校便り

令和4年2月14日
文責：校長 江上 知男

学校としても「まん延防止」に力を注ぐときです！

新型コロナの感染状況について、2月13日(日)までの予定だった熊本県の「まん延防止等重点措置」は3月6日(日)まで延長され、県内は「第6波」の真っ只中です。御船町でも、連日10人を大きく超す新規感染者の数となっています。まさに「身近にコロナがある」状態です。

小坂小学校では、今のところ「学級閉鎖」や「クラスター発生」には至っておりません。これは、各家庭での「健康観察」を徹底していただき、「本人や同居家族等にちょっとでも体調に不安があるときは登校を見合わせる」こと等を理解していただいた保護者の協力のおかげです。心から感謝します。学校では、引き続き次の3項目について取り組んでいこうと考えています。

1 「感染予防」の徹底(隣の人に感染させない・隣の人から感染しない)

- ① 感染予防策なしで1m以内・15分以上の接触をさせない「正しいマスク着用の徹底」
- ② マスクを外す給食時の「黙食の徹底」
- ③ 午前1回・午後1回に行う共用接触部分(ドア・トイレ等)の「消毒の徹底」

2 「情報集約・管理」の徹底(学校の状況を正確につかむ・個人情報を守らない)

- ① 安心メールによる「お願い」等の徹底と休日等におけるフォームスによる情報収集
- ② 町教育委員会や保健部局等との可能な限りの情報共有と守秘義務

3 「科学と人権の取組」の徹底(誰でもコロナに罹る・罹った人は悪くない)

- ① 誰でも感染する可能性があることの再確認と子ども主体の積極的な予防(科学)
- ② 感染した人や周りの人に対して「誰でもかかる可能性があり感染した人は悪くない」「傷ついた人を温かい言葉で励まそう」と子どもが言える働きかけ(人権)

今回の「オミクロン株」に関しては感染力が大変強く、保護者の皆さまも今まで以上に不安が大きいことと推測します。軽症の方が多いとは言え、重症化しない保証はありません。

実は、私たち教職員も毎日が不安でいっぱいです。しかし、これまでと同様に必ず終息するときが来ます。その日が1日でも早く迎えられますよう、感染予防の協力をよろしくお願いします。



朝の登校の様子

朝の登校時刻について 12月24日号で、児童会主催で登校班長会を開催したことをお知らせしました。

おかげで、3学期以降全員そろって登校できる班が大幅に増えました。ご家庭でも、子どもたちが定刻に出発できるよう、様々な協力をいただいていると思います。ありがとうございます。

ところで、最近「登校が早い班」が増えていました。早いことは悪いことではありませんが、地域で見守りをしてくださる方々も早く立つ必要が出てくるため、2月8日に担当職員の呼びかけで登校班長会を開き、「7:30以降に学校到着」で各班の集合時刻を調整してもらいました。出発時刻を変更している班もありますので、ご家庭でも確認いただきますようお願いいたします。

オリンピックに熱中して… 連日行われている北京オリンピックに熱中して、寝不足なのは私だけでしょうか…。

世界のアスリートの真剣勝負に、スポーツ大好きな私は胸躍ります。

ところで、気になるネット記事を見つけました。ジャンプ団体で失格になってしまった高梨沙羅選手に「ネット上でのバッシング」が起こっているとのこと。失格になって最もショックを受けたのは、高梨選手のはずなのに…ひどい話です。「日本人は『人に優しく自分に厳しい』ことが美德ではなかったのか」と思います。小坂小学校の子どもたちには、「人がきついつきに寄り添える人になって欲しい」と心から願っています。